

ファンド全体像

小分類	投資先企業ステージ・投資手法等別ファンド						特定業種・特定事業向けファンド				その他のファンド	
	ベンチャーファン ド	PEファンド (パイアウト、再 生)	地域再生ファン ド	メザニンファン ド	アクティビストファン ド	ヘッジファン ド	業種特化型ファン ド	事業特化型ファン ド (プロジェクト・ファン ド)	商品ファン ド	不動産ファン ド	ソブリン・ウェル ス・ファンド(SW F)	ファンド・オブ・ ファンズ(FOF)
ファンド業務の概要	創業期・初期段階のベンチャー企業の未公開株式を数%～50%程度取得し、ハンズオン支援を通じて企業価値を実現する。主にIPO時等の株式売却により利益獲得を目指す。時には役員を送り込むなど共同事業的な性格も強く、関連産業・新規事業等に対する経験・ノウハウが必要とされる。	成長段階以降にある企業の経営支配権(株式の過半数)を相対で取得し、中期的に経営に参画、生産性の低い部門等の切り離しや業務効率化、経営戦略の変更等により、企業価値を高めた上で株式売却により利益獲得を目指す。特に、過剰債務を抱え経営困難に陥っている企業への投融資により財務面の改善や事業の再構築等を行うものを再生ファンドという。	再生ファンドのうち、成長段階以降にある地域の中堅・中小企業の再生に対して投融資するもの。	債権順位等において普通株式と通常融資との中間的な性質を持つ「メザニン」(種類株式、転換社債、新株予約権付社債、匿名組合出資、劣後融資等)により投融資し、権利売却、返済、償還等により利益獲得を目指す。	主に上場企業の株式を取引所で数%～数十%取得し、大株主としての発言力を活用して、配当増額や役員交替等の提案活動を行う。配当や株価上昇による売却益により利益獲得を目指す。株式取得方法として、TOBを用いることもある。	投資対象は、通貨、株式、債券、不動産、商品等千差万別。特徴は、 <u>私募等制約要因の少ない形式で組成することによりレバレッジを活用するなど自由裁量の下で投資活動を行い、株式ロングショート等の投資戦略を活用しながら流動性資産からの絶対的収益を追求し、成功報酬を徴収。</u> (注4)	コンテンツファンド、ITファンド、パイオファンド等、特定の業種に限定して投資を行い、事業収益等を得て利益分配するもの。(例: コンテンツファンドは、映画やゲーム等の制作のために、事業を行わない者からの出資を受け、著作権等を取得し、その事業収益を得ることにより利益獲得することを目指す。)	投資家から資金を集め、特定の事業を行い、その収益等から利益分配するもの。(例: 通信設備を取得し、そのリース料を得ることにより利益獲得)	商品投資顧問業が投資家から資金を集め、主として、金・原油・ゴム等の商品先物取引等で運用を行い、その利益を投資家に分配するもの。商品ファンド法により規制。	不動産(又は不動産信託受益権)を取得・開発し、賃料その他の収益を分配するもの。	中東のオイルマネーや中国の外準等を原資とする政府系ファンドで、主にリスク性資産を含め積極運用しているものを指す。(注6)	株式や債券等に直接投資を行うのではなく、それらに投資を行っている別のファンドに対して投資を行うファンド。投資先をより広域に分散することが可能とされている。
法的形態	国内外LPS 任意組合 匿名組合	国内LPS 任意組合 匿名組合 海外スキーム	国内LPS 任意組合	国内LPS 任意組合 匿名組合	任意組合 海外私募投信	任意組合 海外私募投信	国内LPS 任意組合 匿名組合 信託	匿名組合 任意組合	匿名組合 任意組合 信託	上場不動産投信 (J-REIT) 信託	Authority, 政府当局、株式会社、持株会社	任意組合 国内外LPS 信託
主要投資家	機関投資家が中心だが、個人も一部参加。	海外投資家を含め、機関投資家中心(個人は稀)。	地域金融機関、地方公共団体、(独)中小企業基盤整備機構、日本政策投資銀行等の機関投資家・公的機関等(個人は稀)。	銀行、保険会社、信託等金融機関が中心。	機関投資家中心だが、個人も一部参加。	銀行、保険会社、信託等金融機関が中心。一部、年金、事業法人、個人富裕層も参加。	業界関係者、金融機関が中心。	個人・法人	個人・法人	機関投資家中心。	主に国家(オイルマネー、外準等の国家資産)、一部年金基金。	機関投資家、年金基金、個人
ファンド規模	ファンド総額: 約9,887億円 ファンド本数: 457本 (注1)	ファンド総額: 約1.8兆円 ファンド本数: 104本 (注2)	ファンド総額: 約1,200億円超 ファンド本数: 43本 (注2)	ファンド総額: 約2,500億円 ファンド本数: 11本 (注2)	不明	我が国の投資残高: 約7.4兆円(注5) 世界の資産総額: 約200兆円弱と推定	不明	不明	ファンド総額: 推定約1000億 円以上	ファンド総額: 5兆円超(J- REIT分) (注3)	世界の資産総額: 約231～286兆 円 (注6)	不明
投資規模/案件保有期間	数千万円～1億円程度 約3～10年	数十～数百億円程度 約3～5年程度	数千万円～数十億円程度 約2～10年	数千万円～数億円程度 数年	数億円～ 数ヶ月～数年	- 数秒～数ヶ月程度と推定	数千万円～数億円程度 約3～10年	数千万円～ -	- -	数億～数百億円 -	- -	- -

(注1: VEC「平成18年度ベンチャーキャピタル等投資動向調査」)

(注2: 日本パイアウト研究所「日本パイアウト市場年鑑 2006年版」)

(注3: モーニングスター社のホームページ <http://morningstar.japan-reit.com>)

(注4: 平成19年3月金融庁「ヘッジファンド調査の結果」及びニコラス「マーケットニュートラル投資の世界 ヘッジファンドの投資戦略」より)

(注5: 平成19年3月金融庁「ヘッジファンド調査の結果」より平成17年度末の金融機関保有残高)

(注6: 平成19年6月国際金融情報センター「SWF -中国・ロシアも加わり市場の関心が高まる国家ファンド-」)